

## 令和5年度第1回青森市健康福祉審議会児童福祉専門分科会会議概要

- 1 開催日時 令和5年11月24日（金） 18時30分～20時16分
- 2 開催場所 青森市福祉増進センター（しあわせプラザ） 3階 大会議室
- 3 出席委員 天間美由紀委員、佐藤洋子委員、大友啓文委員、  
工藤志穂委員、清水和秀委員、林丈夫委員、  
町田徳子委員、秋田谷洋子委員、館山尚委員  
《計9名》
- 4 欠席委員 鳴海陽介委員、八木橋晃委員
- 5 事務局 福祉部長 岸田耕司  
福祉部次長 大久保綾子  
子育て支援課長 泉澤豊  
主幹 三浦章二、山上幸男、石澤望美、澤拓生、長内麻恵  
主事 佐藤桃香  
保健部あおもり親子はぐくみプラザ 所長 斉藤麻里  
教育委員会指導課 主幹兼主任指導主事 横山清之  
《計11名》
- 6 会議次第
  - 1 開会
  - 2 福祉部長あいさつ
  - 3 委員紹介
  - 4 事務局職員紹介
  - 5 議事
    - (1) 会長職務代理者の指名
    - (2) 青森市子ども総合プラン及び青森市子どもの権利の保障に関する  
行動計画のフォローアップについて
    - (3) (仮称) 青森市子ども総合プランの策定について
    - (4) アンケート調査の実施について
  - 6 閉会

## 7 会議概要

### 5 議事

- (1) 会長職務代理者の指名  
天間会長が佐藤委員を指名し、佐藤委員が了承した。  
会長職務代理者 佐藤 洋子（青森市保育連合会 会長）
- (2) 青森市子ども総合プラン及び青森市子どもの権利の保障に関する行動計画のフォローアップについて

事務局から資料1、資料2、資料3、資料4、別紙、資料5、資料6について説明

#### 質疑・意見

○委員 子どもと接していてもインターネット上のやり取りが全く見えないため、ネットパトロールは重要だと考えており、インターネットの適切な使用のための取組は行っているのか。

●事務局 教育委員会事務局指導課において、ネットパトロールの専門員を配置しており、ネットパトロールにおいて、本市の小中学生と思われる事案については、各学校に情報提供の上指導を行っている。また、インターネットの依存や取扱について、各学校に出向き、講座を開催し指導を行っている。

○委員 「ひとり親家庭などへの支援の充実」、「子どもの貧困対策の推進」として貸付資金制度などによる経済的支援を行うと記載があるが、当該制度の1つである運転免許取得の貸付は、就職が決まってから貸し付けるという内容であり、これは、就職が決まる前に免許を取得することが主流となっている現状にそぐわない内容であるため、国の制度であり市独自にできない部分であるが、国や県などに働きかけをしていただきたい。

また、こういった貸付金制度の周知はどのようにしているのか。

●事務局 国の制度である母子父子寡婦福祉資金貸付金の貸付内容は、用途によって決められており、運転免許取得の貸付は、就職内定後、運転免許が必要であれば貸付を行うものであるが、委員の意見を踏まえ、様々な機会をとらえ、国や県に現場の生の声を伝え、働きかけていく。

貸付金制度の周知方法については、市ホームページへの掲載のほか、対象の学年の児童・生徒に対し、学校を通じてプリントを配付するなどして周知している。

○委員 子育てひろばの開催回数の達成状況が1.3%と非常に低い数値になっている。  
子育てひろばの開催当初は6地区で開催しており、開催回数が一番多い地区でも年4回程度の開催であったため、6地区に換算しても年間2.4回となることから、目標値の7.6回は現状とかけ離れていると思う。もう少し指標の目標値を下げ、敷居を低くする必要があると思う。

また、保育士が不足している影響により、子育てひろばの開催が事業所の負担になっている現状もあるが、子育てひろばは、子育てに困っている保護者の孤立を防ぎ、虐待等の未然防止のために必要であるため、事業所に対し、子育てひろばの開催意義を周知していく必要がある。

○委員 悩んでいる子どもに、相談機関の電話番号等を周知する方法として、例えば教室に相談機関の電話番号等を記載したカードを設置すれば、もう少し子どもからのSOSを聞くことができるのではないかと。

(3) (仮称)青森市子ども総合プランの策定について

事務局から資料7について説明

質疑・意見

特になし。

(4) アンケート調査の実施について

事務局から資料8、資料9について説明

質疑・意見

○委員 アンケート調査は紙媒体のみで行うのか。

●事務局 紙媒体のみで実施予定である。

○委員 WEBでも回答できるようにすれば、回収率が上がるので検討してほしい。  
また、事業所に対するアンケートは、回答する事業所の負担を軽減するため、できるだけ記述式ではなく選択式にしてほしい。

●事務局 検討して、可能であれば対応する。

○委員 性別に関する設問について、選択肢が「男」、「女」のみであるが、性別についてはいろいろな考え方があるので、選択肢を再度検討していただきたい。